

副理事長所信

室名 : 片桐室
役職 : 副理事長
氏名 : 片桐 乾次郎

私は一般社団法人東海青年会議所の一員であることに、誇りをもっています。明るい豊かな社会の実現に向けて、同じ志をもった仲間たちの運動が、地域課題の解決に向けた大きなムーブメントとなっていく姿を、幾度となく目の当たりにしてきたからです。たった6畳程のJCルームで起こる議論は、はじめは「さざ波」です。そこから仲間たちの力を借りて「さざ波」は力を増し、「白波(しらなみ)」となっていきます。さらに行政や協力団体を巻き込んだ運動は、「白波(しらなみ)」から大きな「うねり」となって、社会を突き動かしてきました。この「うねり」の中心にいるJCメンバーは、手に汗を握る、興奮や感動といった経験をしてきました。このような体験が、私の誇りの源泉にあるのだと思います。

青年会議所は例外なく40歳で卒業となる組織です。毎年卒業生を送る度に、「うねり」を起こして来られた先輩方がいなくなってしまう寂しさと同時に、「東海青年会議所の一員で良かった」と感じさせていただきます。会員拡大は「人が減るから、人を増やす」では無く、JCの運動である社会課題解決に向けた「うねり」に共感してくれる仲間を集める活動です。

まずはメンバーの皆さんに伺います。「あなたはなぜJCを続けているのですか?」きっと今まで体験した「うねり」があるからではないでしょうか。きっと仲間達の顔が浮かんでくるのではないのでしょうか。ときには議論が熱くなって大喧嘩したこともあるでしょう。ときには悔しくて涙が溢れた経験もあるでしょう。その様な仲間の輪を広げていくことが、先輩達から受けた恩を送っていくことだと考えております。

当たり前ですが、会員拡大の方法に正解なんてありません。JCの魅力を多くの人に伝えていくには、どのような方法が良いのか、魔法の杖が無いので、会員拡大委員会は模索し続けるのです。今年度の会員拡大委員会では、阿知和宏樹委員長をはじめとするメンバーの意見を最大限尊重し、サポートしていくことが私の役割だと考えております。既成の方法や常識に囚われない、自由な発想で会員拡大に挑戦していく委員会を全力で支援していく所存です。

最後になりますが、このような大役に任命して下さった小野久仁陸理事長に感謝申し上げます。私自身、昨年に会員拡大委員会の委員長を務めた際に得た知識・経験を活かし、一人でも多くの新たな仲間を迎え入れられるよう、全力で邁進していく所存です。一年間どうぞよろしくお願い致します。